

AIを戦略的パートナーに変える、新時代のプレゼン設計術

思考を深め、人を動かす。AIとの対話で実現する、再現可能な4ステッププロセス。



なぜ、私たちのプレゼンは「伝わらない」のか？

プレゼンの成否は、一つのスキルではなく、4つの要素の掛け算で決まります。
どれか一つが欠けても、伝えたいメッセージの力は大きく損なわれてしまいます。



論点整理

「何を言うべきか」が曖昧



構成作成

話の順序が説得力に欠ける



資料化

資料が分かりにくく、退屈



伝達力

話し方に自信がなく、
質疑応答が不安

属人的なスキルから、再現可能な「システム」へ

AIを単なる作業ツールとして使うではありません。「対話型の思考パートナー」として活用し、プレゼン作成の全工程を体系的な4ステップのプロセスに進化させます。これ、誰でも質の高いプレゼンを安定して生み出すことが可能になります。



STEP 1: 論点整理 - AIとの対話で「思考の核」を固める

優れたプレゼンは、強固な論点から始まります。AIは、熟練のコンサルタントのように的確な質問を投げかけることで、思考の抜け漏れを防ぎ、議論の土台を構築します。

実践例: AIからの問いかけ（社内提案のケース）

目的: 上層部への「ChatGPT有料版」導入提案

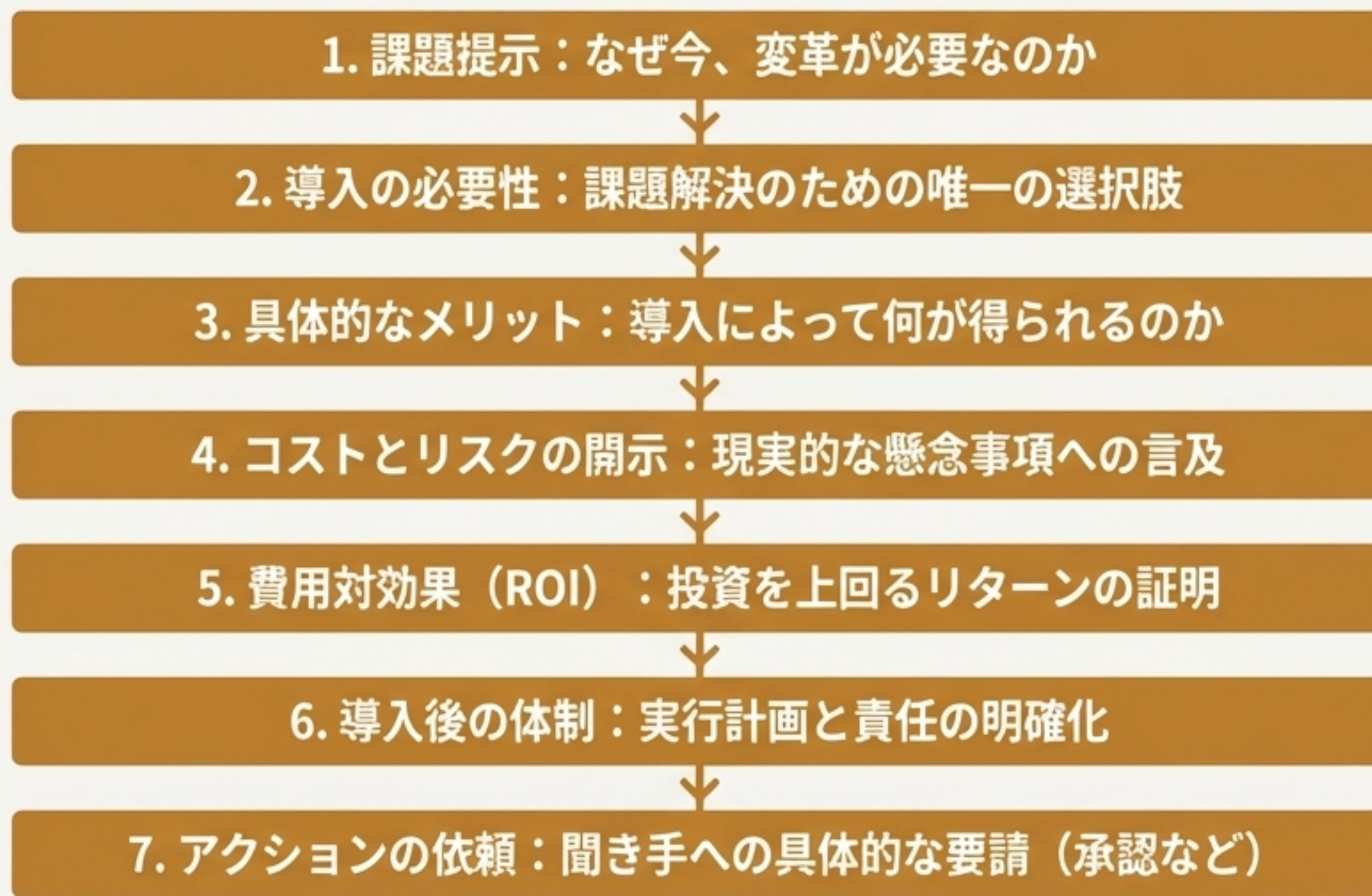
AIが提示した6つの必須論点

1. 現状の課題は何か？
2. なぜこのサービスの導入が必要なのか？
3. 導入にかかるコストやリスクは？
4. 導入後の運用責任者は誰か？
5. どのような効果が期待されるか？
6. 最終的に相手（上層部）にどうしてほしいのか？（承認、協力など）

STEP 2: 構成作成 - 説得力を最大化する「物語の設計図」を描く

論点を並べるだけでは、人の心は動きません。AIは、聞き手の心理を考慮した最適な「構成案」を提示し、承認や合意形成へと導くストーリーラインを自動で生成します。

実践例：AIが提案したプレゼン構成案



STEP 3: 資料化 - 「事実」と「数字」で物語を補強する

抽象的な構成案も、具体的なデータが加わることで一気に現実味を帯びます。ユーザーが持つ独自の情報をAIに与えることで、AIはそれを分析し、説得力のある根拠へと変換します。

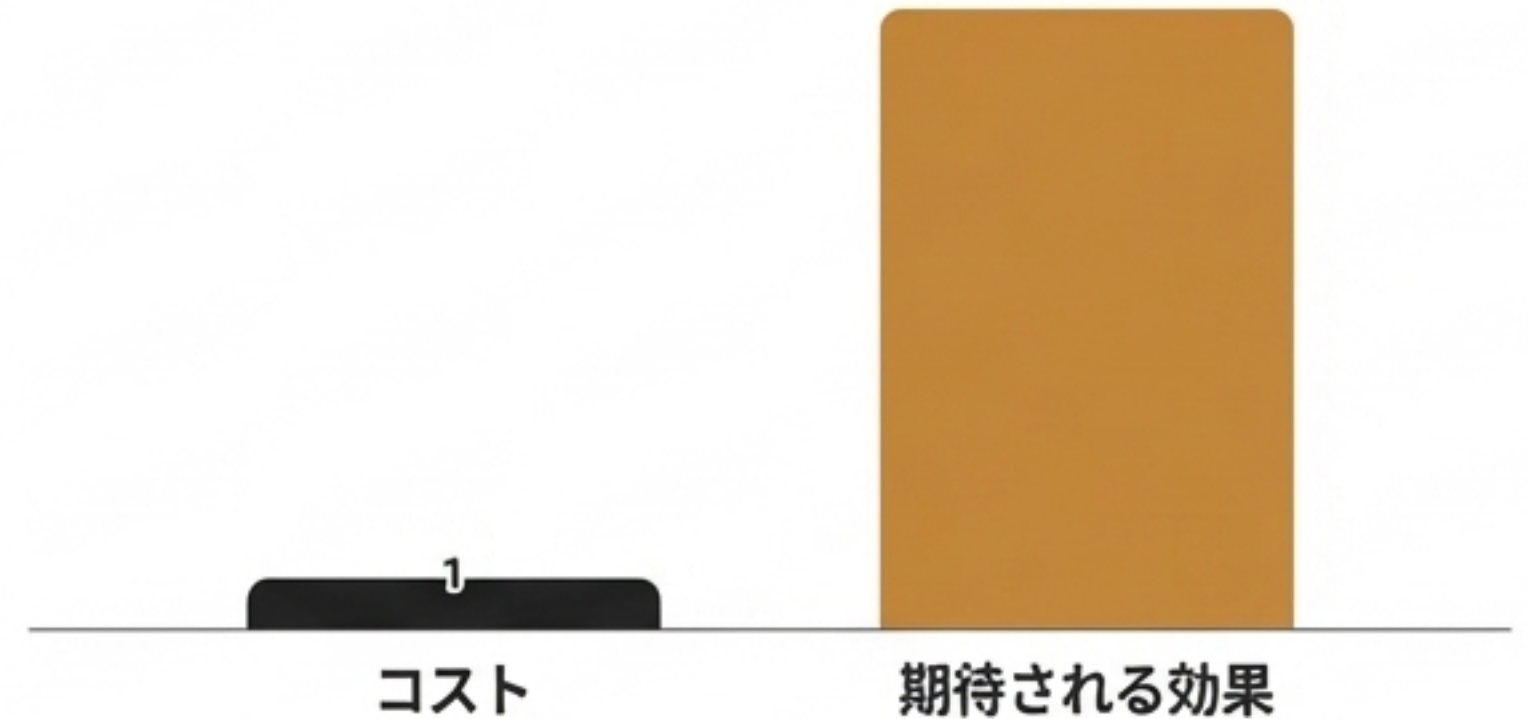
実践例：ユーザーからの情報提供とAIによる試算

ユーザーが提供した情報

- コスト: 1アカウントあたり月額25ドル
- 削減効果: 1人あたり週3時間の工数削減が見込まれる

ROI 14.6倍

現在の状況と比較し、14.6倍の
費用対効果が期待できます。



「投資しない理由がないレベルの
費用対効果です。」

STEP 3: 資料化 - アイデアを瞬時に 「見える化」する

ゼロからスライドを作成するストレスから解放されます。AIは、合意した構成とデータに基づき、各スライドのタイトルと要点をまとめた「叩き台」を自動生成。これにより、人間はよりクリエイティブな仕上げに集中できます。

実践例: AIが生成したスライドの構成（抜粋）



完璧なデザインは専門ツールに譲るとしても、思考整理と構成を反映した『叩き台』としては極めて有効。

STEP 4: 伝達力強化 - 「実践」を通じて自信を確信に変える

最高の資料も、伝え方でその価値は大きく変わります。AIは、プレゼン本番を想定したリアルなロールプレイング環境を提供。あなたのための、24時間対応のパーソナルコーチになります。



1. 原稿作成

作成したスライドに沿った、説得力のあるスピーチ原稿を自動生成。抑揚の付け方や強調すべきポイントなどのアドバイスも付与。



2. 対話型ロールプレイング

AIが「上司役」となり、音声対話でプレゼンの練習相手を務める。

STEP 4: 伝達力強化 - AIとの模擬戦で「想定外」をなくす

本番の緊張感は、リアルなシミュレーションで克服できます。AIはプレゼンを聞くだけでなく、聞き手の立場から本質的な質問を投げかけ、あなたの思考をさらに深めます。

AIからの鋭い質問:

では、上司として質問します。なぜこのタイミングで導入が必要なのでしょう？もう少し待つという選択肢はないのでしょうか？

実践例：AI上司役とのロールプレイング

(ユーザーがプレゼンを実演)

AIからのフィードバック (1回目) : 「話し方は落ち着いていて聞きやすいです。」 「ROIの数字を強調したのが良かったですね。」 「自信を持って話している印象が伝わりました。」

4つの課題は、AIパートナーと共にこう乗り越える

論点整理



- Before: 何を言うべきか曖昧
- ✓ After: AIの質問により、伝えるべき核心が明確に

構成作成



- Before: 話の順序が場当たりの
- ✓ After: 聞き手を納得させる最適な物語の型を適用

資料化



- Before: ゼロからの作成に時間がかかる
- ✓ After: 構成とデータを反映した叩き台を数分で生成

伝達力



- Before: 一人よがりの練習、本番での不安
- ✓ After: AIとの対話型ロープレで実践力と自信を獲得

これは、プレゼン作成の新しい作法。



AIプレゼン設計術の本質は、作業の自動化ではありません。
それは、**AIとの対話を通じて、一人では辿り着けなかった思考の深みに到達し、
自身の言葉に絶対的な自信を持つためのプロセス**です。
AIはあなたの思考を代替するのではなく、増幅させるのです。